

ほけんだより



我孫子市公立保育園 令和7年8月発行

千葉県内で**麻しん（はしか）**の発生が続いている

1 症状

- ・感染すると通常10日から12日後に38℃前後の発熱、咳、鼻汁、くしゃみ、結膜充血などが約2日から4日間続き、解熱後、再び発熱し発疹が出現します。
- ・肺炎、中耳炎を合併しやすく、患者1,000人に1人の割合で脳炎が発症すると言われており、死亡する割合が高く、先進国でも1,000人に1人と言われています。

2 感染経路

- ・主な感染経路は、空気感染で、その感染力は非常に強く、免疫を持っていない人が感染するとほぼ100%発症すると言われています。
- ・発症した人が周囲に感染させる期間（感染可能期間）は、症状が出現する1日前から解熱後3日間まで（全経過を通じて発熱がみられなかった場合、発疹出現後5日間まで）と言われています。

3 予防

- ・麻しんは、感染力が強く空気感染もするので、手洗いやマスクのみでの予防ができません。
- ・麻しんを予防するには、予防接種が有効です。
- ・麻しんに感染しない、広めないため、母子手帳などで予防接種歴を確認し、2回接種していない方や予防接種歴が不明な方は、かかりつけ医などに相談し、接種を検討しましょう。

（松戸保健所感染症情報を参照）

予防接種情報

麻しん風しん混合（MR）

I期：1歳から2歳の誕生日以前までが対象

II期：5歳児クラス（年長）が対象

